

バイオドーパ

BioDopa

ムクナプルリエンスエキス

ムクナプルリエンスとは

各種研究

BioDopaとは

製品規格

●ムクナプルリエンスとは



Mucuna pruriens (ムクナプルリエンス) は日本ではハッシュョウマメと呼ばれるマメ科の植物で、インドの伝承医学アーユルヴェーダにおいて一般的な薬用植物の一つです。ムクナはインド全域に生育する熱帯性のつる性植物で、3~18m にまで生育し、白から濃紫のぶら下がった花をつけます。さやヘルベットのよう長い刺毛でおおわれているのでヘルベットピーン(ピロード豆)とも呼ばれています。豆は黒・白・黄褐色を

しており、タンパク質・炭水化物・脂質・繊維・ミネラルを含んでいます。全てのムクナ属の種は高濃度の L-ドーパを含んでおり、ムクナプルリエンスの種は3~7%の L-ドーパを含んでいます。さや、葉、豆ではセロトニンの集積も見つかっています。

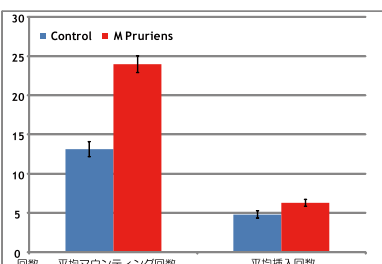
ムクナは、アーユルヴェーダ医療において寄生虫、赤痢、下痢、蛇にかまれた傷、性欲減退、咳、結核、インポテンス、リウマチ性障害、筋肉痛、不妊、痛風、月経障害、糖尿病とガンなど広く使われてきました。また催淫薬、月経促進剤、子宮刺激薬、神経強壮薬、利尿薬、血液浄化剤としての効果も考えられています。

ムクナは植物体全体にそれぞれ貴重な薬効があり、最も重要なのは種子に L-ドーパが含まれている事です。L-ドーパはアミノ酸の一種であるチロシンの誘導体で、体内でドーパミンに変換されます。ドーパミンは脳を正常に機能させるのに必要な神経伝達物質で、ドーパミンがなければ筋肉の緊張やこわばりが起きます。

●ムクナについての研究

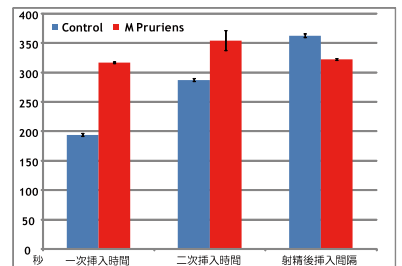
◆パーキンソン病：アメリカで行われた二重盲検交差法試験において、8人のパーキンソン病患者に対して、200/50mgのLD/CD(L-ドーパ/カルビドーパ：合成処方薬)、15又は30gのムクナ調整品(L-ドーパ換算で500又は1,000mg)を単回投与で無作為に与えました。LD/CDと比較して、30gのムクナ投与グループでは効果の発現が早くなり(LD/CD：ムクナ、68.5分：34.6分)、効果持続時間は21.9%長くなりました。また、ピークのL-ドーパ血漿濃度は110%高くなり、血漿-時間濃度曲線下面積(体内に取り込まれた全量)はムクナ投与グループでは165.3%大きくなりました¹⁾。

◆性的能力の向上：インドで行われた催淫性の研究において、1週間1日1回体重1kg当り1gのムクナを与えた時、雄のアルビノラットの性的能力が、性的衝動行動の改善とテストステロンレベルを刺激する能力を増すことによって増進する事が示されています。



この研究では1週間の投与により、性的に正常なラットにおいて性的欲求が増し、性的能力が改善されたことを示しています²⁾。

◆男性の不妊症の改善：インドで2007年に行われた研究では、不妊症男性の精液プロファイル及び精漿の生化学レベルへ及ぼすムクナの効果について調べられています。その結果では、ムクナによって、精液の濃度と精子の運動性が全ての不妊症被験者で改善されています。また全ての不妊症被験者の精漿・脂質濃度・抗酸化ビタミン・フルクトースが改善されています。この研究ではムクナ種子が不妊症男性の強壮剤や回復薬となる可能性を示しています³⁾。



●BioDopaとは

バイオアクティブズジャパン社がお届けする BioDopa はインドの原料供給会社と契約し、原料のトレーサビリティを持った安全なムクナから80℃の水で抽出しており、L-ドーパ30%で規格した粉末です。

参考文献

- 1) Katzenschlager et al. (2004) *J. Neurol. Neurosurg. Psychiatry*, **75**(12):1675-1677.
- 2) Amin et al. (1996) *Fitoterapia*, **67**: 53-58
- 3) Ahmad et al. (2008) *Fertil. Steril.*, **90**(3) : 627-635

●製品規格 (例：30% L-ドーパ)

外観・性状	：茶色の吸湿性の粉体
色・におい	：特異的
乾燥減量	：6.0%以下
溶解性	：水に95.0%以上溶解 アルコールに25.0%以上溶解
灰分含量	：10.0%以下
L-ドーパ含量	：30.0%以上
篩分試験	：20メッシュ100%通過 ：80メッシュ100%通過
重金属	：20ppm以下
重金属(ヒ素)	：1ppm以下
重金属(鉛)	：10ppm以下
微生物試験	：食品衛生法基準に準拠
推奨使用量	：150mg/日
梱包	：1kgまたは10kg



BIO ACTIVES JAPAN CORPORATION

バイオ アクティブズ ジャパン株式会社

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20-9F

TEL 03-5981-0601 FAX 03-5981-0602

E-mail: info@bioactivesjapan.com http://www.bioactives.co.jp/